

郷土しりょうかん

わた り ち ょ う り つ き よ う ど し り ょ う か ん
巨理町立郷土資料館

〒 989-2351 巨理郡巨理町字西郷 140

Tel : 0223-34-8701

E-mail : kyoudo@town.watari.miyagi.jp

～巨理を築いた人々～巨理伊達家を知ろう！（４）

巨理伊達家の特集4回目は、巨理伊達家に関する歴史資料についてです。

伊達成実が残した記録

巨理伊達家初代領主成実は、伊達政宗の功績についてまとめた『成実記』という著作を残したといわれています。天正12年(1584)10月に政宗が伊達家の家督を相続した際、方々から祝いの使者が来たことから記述が始まっていて、最後は慶長5年(1600)6月の白石城攻めまでが書かれています。

この著作にはいくつかの系統があります。慶長5年以降の記事や政宗の人となりについて触れたものもあり、表題も『政宗記(正宗記)』『伊達日記』など複数確認されています。なお、巨理伊達家に伝来し、現在北海道伊達市が所蔵しているものは『政宗公御軍記』という表題になっています。

文章は漢字仮名交じりの日記体で、他勢力とのやり取りや戦闘のことなどが具体的に書かれていて、実際その場にいた者でないとわからない内容が多く含まれています。近年、東北地方の戦国時代については全国的に関心が高まっていることから、政宗の動向を知るための貴重な資料として『成実記』のさらなる研究が期待されています。



▲ 巨理町立郷土資料館所蔵の成実記(表題『正宗記』)

家臣をまとめた名簿

みなさんは「分限帳」というものをご存知でしょうか。これは家臣の氏名・身分・給与額などを記した公式の序列簿のことです。巨理伊達家が作成した分限帳は、宝永3年(1706)、文化3年(1806)、文政9年(1826)、慶応3年(1867)の4冊現存しています。

それぞれの分限帳に記されている件数は右の表のとおりです。寺社や村役人も記されていて、家臣以外の人たちの当時の状況もある程度は知ることができます。実際、文政分限帳は巨理伊達家の北海道移住後、移住者の家格・身分や後継者の特定に使われたようです。

このほかにも、巨理伊達家家臣の常盤貴定が文政4年(1821)に編纂した『巨理世臣家譜略記』という記録が残されています。これは現存する巨理伊達家唯一の家臣に関する系譜集で、編纂時の家臣のうち364家の系譜が収録されており、分限帳と合わせて調査することで家臣に関する多くの情報を知ることができます。

宝永分限帳	820件
文化分限帳	791件
文政分限帳	811件
慶応分限帳	885件

令和6年度の特集もお楽しみに！

次号の「郷土しりょうかん」は、4月に発行する予定です。

郷土資料館、図書館、各公共施設の窓口に置きますのでご覧ください。

「オープンミュージアム」を開催しました！

11月3日「文化の日」を記念して、郷土資料館を特別開館しました。今回も「郷土芸能演舞会」を開催し、昨年出演の巨理杵取り舞保存会に加え、5年ぶりに牛袋法印神楽保存会のみなさんに出演いただきました。

巨理杵取り舞では、総合的な学習で舞に取り組んでいる吉田小学校3年生の有志8人も加わって舞が披露され、児童のみなさんは日頃の練習の成果を発揮していました。

牛袋法印神楽では、全12幕のうち第5幕の「弓八幡舞」が披露され、鑑賞した方々は、神楽の厳かななかにも躍動感のある舞に見入っていました。

また、展示室内では、ぬり絵や切り絵、昔のおもちゃ遊びを体験できるコーナーや、常設・記念展示の内容から出題したチャレンジクイズを行い、クイズ正解者には三十三間堂官衙遺跡がデザインされたオリジナルクリアファイルをプレゼントしました。当日は285人が来館され、盛況な一日になりました。



▲ 巨理杵取り舞の様子



▲ 牛袋法印神楽「弓八幡舞」の様子

郷土資料館町民講座「ものしり大学院」



▲ 講演の様子

オープンミュージアムと同じ11月3日、『巨理町史 自然編』刊行に関連するものしり大学院を開催しました。

『巨理町史自然編』執筆者の平吹喜彦先生(東北学院大学教授)を講師にお招きし、「ふるさとわたりの自然と人の営み」と題して、植生学を専門に長年研究されてきた先生からみた“巨理町の自然の特徴”について詳しくお話いただきました。

「持続を可能にする教育」に取り組んでいる先生は、地域(ふるさと)での実体験を通じて複数の異なる分野にまたがって学ぶモデルを紹介し、未来を担う子供にとって巨理町の自然は「生きる力」と「世代を越えた絆」を育む最良の場であるとまとめられました。当日は56人が参加され、講演を興味深く聴いていました。

写真展を開催しました

10月1日(日)から11月26日(日)まで、『巨理町史 自然編』刊行記念写真展「わたりらんまん—巨理町の自然—」第2部を開催しました。

三つのコーナーの写真を入れ替えたほか、植物と蝶の標本を展示し、第1部より多い2,162人にご覧いただき、合計の観覧者は3,614人になりました。

第2部のアンケートには「自然の豊かさを改めて感じた」「それぞれの生物のありのままの姿を写す写真で見応えがあった」などの声が寄せられました。



▲ 標本観覧の様子



宮城県指定文化財 伊達成実霊屋御開帳



▲ 伊達成実霊屋参拝の様子

巨理伊達家の菩提寺である大雄寺には歴代の巨理領主の墓所があり、その中心には初代領主伊達成実の眠る霊屋があります。

霊屋は正保3年(1646)に成実が79歳で亡くなってから間もなく築かれ、中には軍扇を持つ甲冑姿の成実木像が納められています。霊屋は江戸時代初期を代表する霊屋建築として宮城県の指定文化財になっています。

1月16日(火)、今年度2回目の霊屋開帳と成実木像の一般公開を実施し、128人が参拝されました。午前には奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊の伊達成実さんと、郷土資料館学芸員による現地解説会を行いました。成実の生涯や巨理伊達家に起こった事件などについて成実さん自作の紙芝居やパネルを交えながら解説し、40人の参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、会場には1月1日に発生した能登半島地震で被災した方々を支援する募金箱が設置され、多くの方の善意が寄せられ2万円が集まりました。強風の中、来場していただき参拝・募金して下さったみなさまに心から御礼申し上げます。



▲ 解説会の様子

災害から文化財を守るために



毎年1月26日は文化財防火デーです。この日は、昭和24年(1949)に法隆寺(奈良県)金堂の壁画が火災によって焼失した日にあたります。文化財を火災などの災害から守るとともに、全国的に文化財防火運動を展開することで国民の文化財愛護に関する意識の高揚を図るため、昭和30年(1955)に定められました。

巨理町では、今年度は1月26日(金)に逢隈田沢区の安福河伯神社で防火査察と訓練を行いました。安福河伯神社は本殿が町指定文化財になっており、巨理消防署による防火設備の点検・指導ののち、参加者による通報訓練・初期消火訓練を行いました。



▲ 防火査察の様子

今後の郷土資料館の事業を紹介します



令和5年度も残り少なくなりました。郷土資料館の今後の事業についてお知らせします。

第26回収蔵資料展

- *期間 2月24日(土)～5月12日(日)
 - *時間 9:00～16:30(入館は16:00まで)
 - *場所 郷土資料館企画展示室
- 令和2年(2020)度に寄贈された資料91点を公開します。

巨理伊達家雛人形・つるし雛展

- *期間 2月17日(土)～3月17日(日)
 - *時間 9:00～16:30(入館は16:00まで)
 - *場所 郷土資料館常設展示室
- 悠里館1階エントランスホール
巨理伊達家の雛人形と婚礼調度品、つるし雛を展示します。

郷土資料館カレンダー・利用状況

資料整理のため2月5日～12日まで休館します

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1 ← 年始	2	3 休館	4 →	5	6
7	8 成人の日	9	10	11	12	13 上映会
14 上映会	15	16 霊屋 御開帳	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26 資料 整理日	27
28	29	30	31			

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5 特別 整理 期間	6	7	8 →	9 →	10 →
11 →	12 →	13	14	15	16	17 上映会 雛人形展開始
18 上映会	19	20	21	22	23 天皇 誕生日	24 収蔵資料展 開始
25	26	27	28	29		

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9 上映会
10 上映会	11	12	13	14	15	16
17 雛人形展終了	18	19	20 春分の日	21	22	23
24	25	26	27	28	29 資料 整理日	30
31						

◆ は休館日

※上映会は「わたり復興の歩み」を終日上映

時間 9:00～16:30

場所 悠里館1階エントランスホール

常設展

R5.10.1～12.27

●開館日数…72日間

●観覧者数…2,681人(1日平均38人)

『巨理町史 自然編』刊行記念写真展(第2部)

「わたり らんまん 一巨理町の自然一」

R5.10.1～11.26

●開館日数…46日間

●観覧者数…2,162人(1日平均47人)

おわりに

1月1日に能登半島で最大震度7を観測する地震が発生し、報道で被害の状況を見るたび胸が痛みます。巨理町では、東日本大震災の際、復旧支援のために応援職員を派遣して下さった石川県能登町への恩返し^{むね いた}の心を込めて、役場本庁舎、図書館、各地区交流センターに支援金募金箱を設置しています。能登のみなさんの一日も早い復旧・復興を願うばかりです。

今年度も郷土資料館に足を運んでいただき誠にありがとうございました。令和6年度も、引き続き「郷土資料館を訪れて良かった^{おとす}」と思える展示や普及活動^{ふきゅう}を行いますので、ぜひご来館ください。

郷土資料館利用案内

*開館時間…9:00～16:30(入館は16:00まで) *観覧料…**無料** ※特別展等有料の場合あり